

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343A104	中国語Ⅱ (Chinese II)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	後期	月・1	鈴木 晶 内線： E-mail : chenjing@nm.beppu-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

外国語を学ぶのは、聞くこと、書くこと、話すことである。「中国語Ⅱ」の授業は、「中国語Ⅰ」を学習した上で、さらに難しい語彙、文法を学び、一定程度の語彙及び文法をマスターした上で、会話の練習を行う。中国語による挨拶、自己紹介、買物などの場面を設定し、会話を学ぶ。この授業では中国語での簡単な単語とフレーズを理解し、使用することで具体的なコミュニケーションを行うことを目指す。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 挨拶ができる				○		
2. 基本文法の学習ができる					○	
3. 会話の単語数を増やすことができる		○				
4. 旅行用の会話ができる			○			
5. 日常会話ができる			○			

【授業の内容】

1	文法1 主語+動詞+目的語	9	聴解3 空巷
2	文法2 主語+動詞+人物+もの	10	読解1 交通機関に関する標識
3	文法3 主語+動詞1+動詞2	11	読解2 観光案内
4	語彙1 日常会話に関する	12	読解3 観光地
5	語彙2 日常会話に関する	13	会話1 病院
6	語彙3 旅行に関する言葉	14	会話2 タクシー
7	聴解1 買物の場面	15	自己紹介など
8	聴解2 郵便局		

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	・発音のチェック発表してもらう。
B：意見の表現・交換	○	・作文の口頭発表をしてもらう。
C：応用志向	○	・授業中、グループやペアによる会話練習をってもらう。
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料等の情報を必要に応じて予習する (15時間)
事後学修	小テストや配布資料を用いて復習する (15時間)

【教科書】

鈴木晶『やさしい中国語 基本文型と単語』、関東図書、2021年、1980円

【参考書】

園田茂人編『日中関係史 1972-2012 IV民間』、東京大学出版会、2015年

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
期末テスト	60%			○		
小テスト	20%		○			
発表	10%				○	
授業の取り組みの姿勢	10%	○				

【注意事項】 特になし。

【備考】

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	面接授業	